

2019年10月4日  
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平  
担当ワーキンググループ主査 島 健治

フィリピン国ダバオ市バイパス建設事業（南・中央区間）  
（有償資金協力）  
環境レビューに対する助言

**助言案検討の経緯**

ワーキンググループ会合

- ・日時：2019年9月20日（金）13:56～15:29
- ・場所：JICA 本部（1階111会議室）
- ・ワーキンググループ委員：小椋委員、柴田委員、島委員、谷本委員、米田委員
- ・議題：フィリピン国ダバオ市バイパス建設事業（南・中央区間）(有償資金協力)に係る環境レビューについての助言案作成
- ・配付資料：
  - 1) 「ダバオ市バイパス建設事業」環境レビュー方針
  - 2) EIA フィリピン国ダバオ市バイパス建設事業
  - 3) ≪PC-1≫RAP for Davao Bypass Construction Project
  - 4) ≪PC-1≫Annex3、7～13
  - 5) ≪PC-1-1≫RAP for Package 1-1
  - 6) ≪PC-1-1≫Annex-Package 1-1
  - 7) ≪PC-1-2,1-3≫RAP for Package 1-2 and 1-3
  - 8) ≪PC-1-2,1-3≫Annex1～5、7
  - 9) 回答表
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010年4月）

全体会合（第106回委員会）

- ・日時：2019年10月4日（金）14:00～17:16
- ・場所：JICA 本部（1階111・112連結会議室）

上記の会合にて助言を確定した。

## **助言**

### **全体事項**

1. 本事業で建設されるトンネルが丘陵地帯にあることから、警察・消防・病院などの関係機関と協力してトンネル内での火災や車両事故などを想定した消火・救助などの訓練を行うこと、さらに実施機関等関係者の本邦研修が行われる場合には、トンネル内火災や事故への対応の実例を紹介する機会を設けることを、施工管理のコンサルティングサービスの TOR に含めるように実施機関と協議すること。(No.6 谷本委員)

### **社会配慮**

2. トンネル土被り 50m 以浅の土地については基本的に市場価格の 20%での地上権の確保をエンタイトルメントマトリックスに記載すること。また所有者が希望する場合には、再取得価格での補償を行うこと。(No.24 小椋委員)

以上